

改善報告書

1 地域エネルギー供給事業者の氏名及び住所

地域エネルギー供給事業者の氏名（法人 にあつては名称及び代表者の氏名）	東京ガス株式会社 代表取締役社長 内田 高史
地域エネルギー供給事業者の住所（法人 にあつては主たる事務所の所在地）	東京都港区海岸一丁目5番20号

2 エネルギー供給を行った区域

エネルギー供給を行った区域の名称	豊洲六丁目地域冷暖房区域
エネルギー供給を行った区域の所在地	東京都江東区豊洲六丁目の一部

3 エネルギー供給の実績

エネルギー供給の実績	年度	エネルギー効率	窒素酸化物濃度 ppm (加重平均 標準酸素濃度 0%換算)
	2018	1.09	25
2017	0.44	— (貫流ボイラ稼働時間微小で測定不能)	

4 担当部署

担当部署	都市エネルギー事業部 スマエネ事業推進部		
担当者		電話番号	

その2

5 改善計画の進捗状況

(1) 進捗状況

改善計画書どおり進捗している。

(概要)

豊洲市場の移転延期に伴い、2017年度の熱需要は、市場移転を前提とした地域エネルギー供給計画(以下「計画」)の約1割となった。しかし、2018年10月11日の豊洲市場開場に向けた市場側の空調設備の試運転等により、2018年度の熱需要は、計画の5割弱となった。2017年度と比較して熱需要が増加したため、プラントの換気風量の確保や、熱媒搬送における最低流量確保等、最低限必要な動力の熱製造に必要なエネルギーに対する割合が相対的に減少した。そのため、熱効率が向上し、エネルギー効率の指定基準である0.85を満たした。

改善計画書どおり進捗していない。

(概要)

(2) 改善計画書の課題

ア 改善計画書の課題のうち、前年度に改善した課題

昨年度に引き続き、需要実績に応じて熱源ならびに搬送システムを柔軟に運用するとともに、プラントの適切な保守管理・点検を実施した。

イ これから改善する課題

豊洲市場は特殊施設なので、開場後においても設計時に想定した熱需要と実際の熱需要で、値および時刻別の需要パターンの差異が発生する可能性がある。そのため、今後も需要実績に応じた熱源ならびに搬送システムの柔軟な運用が肝要である。

(3) 改善計画書の目標の達成状況

エネルギー効率	【目標】 1. 10 (2017年度の区域指定委員会にて1.15から変更) 【2018年度実績】 1.09
窒素酸化物濃度	【目標】 40 ppm (加重平均 標準酸素濃度0%換算) 【2018年度実績】 25 ppm (加重平均 標準酸素濃度0%換算)

(日本工業規格A列4番)

その3

(4) 改善計画書の内容

ア 改善計画書の内容のうち、前年度に改善した内容

- ・豊洲市場の熱需要実績に応じた熱源ならびに搬送システムの柔軟な運用とその確認
- ・プラントの適切な保守管理・点検の継続実施

イ これから改善する内容

- ・豊洲市場の熱需要実績に応じた熱源ならびに搬送システムの柔軟な運用とその確認
- ・プラントの適切な保守管理・点検の継続実施

(5) その他

需要家の拡大に伴い、2019年11月より以下のとおりプラントの熱源機を増設する。また、新規需要家の建物内にサブプラントを設置し、熱源機を新設する。

【熱源機増設(メインプラント)】

- ・蒸気吸収冷凍機 1,500RT × 1台
- ・貫流ボイラ 3.0t/h × 4台

【熱源機新設(サブプラント)】

- ・コージェネレーション設備 370kW × 2台
- ・排熱投入型蒸気吸収冷凍機 300RT × 2台